

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成21年 12月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成21年12月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成22年2月18日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定(1)	同左	同左		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	57	53	53	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	7	9	7	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

調査結果の評価 : 各調査項目とも大きな変化は無く、評価基準を下まわっています。

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表している。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査



焼却溶融施設

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成21年12月15日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	7.7	7.9	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.7	0.5未満	0.6	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1未満	1	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	10	11	11	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	490	1300	780	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.3	2.1	4.4	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.58	2.1	0.64	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	45	25	35	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	93	(参考値 cm)
10. 塩化物イオン	mg/L	11	10	12	(参考値 mg/L)
11~19. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
20~38. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
39. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

調査結果の評価 :
今回、19項目の調査を実施しました。この結果、調査した全ての項目で評価基準を上まわる結果はでていません。



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成21年12月15日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.0	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.1	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	3.5	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.68	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	50	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09. 溶存酸素	mg/L	9.8	(参考値 mg/L)
10. 塩化物イオン	mg/L	13	(参考値 mg/L)
11~30. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
31~46. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
47. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下



防災調整池排水(敷地境界)

調査結果の評価

: 今回、30項目の調査を実施しました。この結果、調査した全ての項目で評価基準を下まわりました。電気伝導度は通常値より多少高い測定結果でした。これは、塩化物イオン濃度が高い値でないことから浸出水の影響ではなく、今回の調査時に行っていた防災調整池の池乾しのため、水量が減少したことによるものと考えられます。

排出源等モニタリング - 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水	評価基準	
試料採取日	平成21年12月18日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	(参考値)	
02. 電気伝導度(EC)	mS/m	70	(参考値 mS/m)
03. 塩化物イオン	mg/L	16	(参考値 mg/L)
04. カドミウム	mg/L		0.01 mg/L
05. 全シアン	mg/L		検出されないこと
06. 鉛	mg/L		0.01 mg/L
07. 六価クロム	mg/L	測定月でない	0.05 mg/L
08. 砒素	mg/L		0.01 mg/L
09. 総水銀	mg/L		0.0005 mg/L
10. アルキル水銀	mg/L		検出されないこと
11. 透視度	cm		(参考値 cm)
12~30. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
31. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

: 今回、3項目の調査を実施しましたが調査した全ての項目で水質の異常を示す結果はでていません。

- 3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
- 4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目
- 5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
- 6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。